

ぶんかざい

第7号 おおた

平成 16 年 10 月発行

11 月 1 日～7 日は
文化財保護強調週間

文化財愛護シンボルマーク



大田区教育委員会では、先人が残した大切な郷土の歴史遺産である文化財の保存、学校教育での文化財活用を積極的に展開しています。平成 15 年度は、都内で唯一石室の見られる「古墳石室」の保存修理を行いました。

10 月 1 日から 11 月 30 日は東京文化財ウィークです。区内でも記念の事業が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

大田区指定文化財の保存事業報告

★ 区史跡 古墳石室 ★ = 墳丘と石室の保存修理 =

(田園調布四丁目 33 番 非公開)

古墳は 7 世紀中頃に築造された切石積の横穴式石室をもつ円墳で、都内でも唯一石室が見られる古墳として大変貴重な文化財です

近年、墳丘を覆う樹木の根が石室の石壁を動かすなど墳丘と石室に著しい傷みを与えていました。このため、平成 15 年 10 月から平成 16 年 2 月にかけて、墳丘を覆っていた樹木を取り除き、墳丘と石室の保存修理事業を行いました。(関連記事が 2 頁にあります)



(保存修理前)



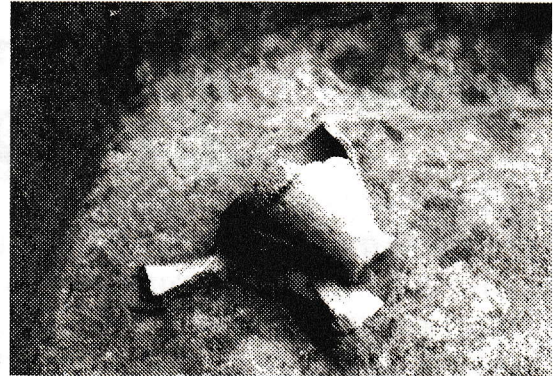
(保存修理後)

埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告

丸山遺跡・丸山古墳

(田園調布一丁目12番)

平成15年4月、共同住宅の建設に伴う発掘調査(調査面積約335㎡)で、弥生時代後期中頃(1900年前)の一边5mの隅丸方形の住居跡等5軒、古墳時代中期末(1500年前頃)の径21m円墳1基が発見されました。弥生時代の住居跡群は、久ヶ原遺跡が拠点集落へと変貌する後期中頃の派生集落と考えられます。また、円墳の発見は、野毛古墳群(世田谷区)が隆盛を極める古墳時代中期にあつて、数少ない田園調布古墳群の古墳時代中期を考える上で、貴重な調査成果と考えられます。



(丸山遺跡住居跡の弥生土器 出土状況)

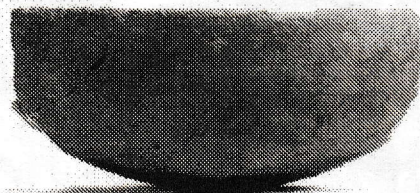
浅間様古墳(区史跡古墳石室)

(田園調布四丁目33番)

平成15年10月～平成16年2月、古墳石室の保存修理事業に伴い、墳丘と石室の築造方法について、発掘調査を実施しました。

調査の結果、玄室内から7世紀中頃の畿内産土師器の埴形土器が発見されました。従来から浅間様古墳の築造年代は、横穴式石室の切石積構造で7世紀中頃と推定されていましたが、土師器の発見により確認されました。

この土師器の発見は、多摩川下流域の終末期切石積み石室古墳の築造年代を考える上で、貴重な成果です。



(発見された土師器)

久ヶ原遺跡

(久が原六丁目17番)

住宅の建設に伴う発掘調査でわずか150㎡の狭い範囲に方形周溝墓が5基発見されました。これまでの調査例から、久ヶ原遺跡の方形周溝墓の数は、百基をはるかに超えるものと考えられます。今回発見の方形周溝墓の地点は、久ヶ原遺跡の墓域の南限と思われれます。また、久ヶ原遺跡の墓域を究明する上で、重要な調査になりました。



(ほうけいしゅうこうぼ
(方形周溝墓出土の弥生土器))

平成16年度埋蔵文化財調査件数

発掘届100件、試掘調査13件、本調査5件(嶺遺跡、丸山遺跡、浅間様古墳、久ヶ原遺跡2件)

文化財（建造物）調査報告

国登録文化財候補調査（田園調布三丁目）

平成15年11月、国登録文化財候補の現況調査を行いました。

調査した住宅は、田園調布の町並みが形成されつつある昭和初期の景観を今に伝えている建物の一つです。

木造2階建て、切妻屋根和瓦葺き、外壁は目板付縦板張り、上部漆喰仕上げで、外観は和洋折衷を基本としています。玄関周りは洋風にまとめられています。

また、内部も洋風が採り入れられ、その特徴は玄関のクルンカータイル床はじめ、寄木板張床、階段周りの造作、型ガラス入木製建具などに見ることができます。

調査の結果、銘文や建築設計図、古写真等が残されていて

(1)昭和5年（1930年）に建てられたこと

(2)外観が現在とほとんど変化がなく建築当時の姿をよくとどめていること

(3)所有者や増改築の変遷のことなどが確認できました。

今回の調査を基に、平成16年度国登録文化財の登録に向け、手続きをしています。



正面（西側）立面図

文化財の学校教育活用

根岸横穴墓群の発掘調査現場見学会

（千鳥三丁目4番6号）

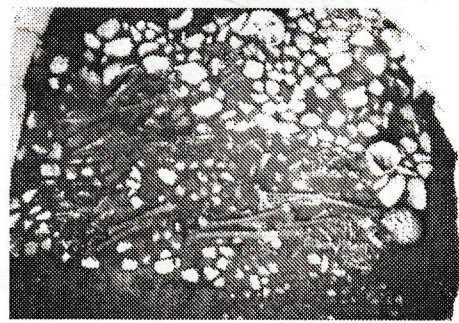
平成15年4月8日（火）、横穴墓の発掘調査現場を近隣住民に公開するとともに、遺跡を郷土の歴史を学習する機会として、地元の東調布第三小学校6年生（教員を含めて76名）を対象に見学会を実施しました。

見学会では、古代（1350年前頃・古墳時代末期）の地域の有力者の墳墓と考えられる横穴墓2基とその人骨を見学して、現場で身近な郷土の歴史を学習しました。

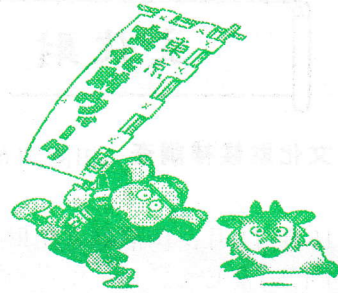
児童たちは、学芸員と調査員の説明を聞きながら地域の有力者の横穴墓内部の広さに驚き、間近に見る有力者の人骨に興味を示している様子でした。



（横穴墓の玄室）



（玄室内の人骨 出土状況）



文化財まもるくん みるちゃん

東京文化財ウィーク (10/1~11/30)

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開 (11/3~11/14) されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財ウィークマップの配布

次のところで、文化財ウィークマップを配布しています。

(数に限りがあるのでお早めに)

▽配布場所 郷土博物館

区政情報コーナー (区役所2階)

◆ 文化財保護強調週間記念講演会

「青銅器が語る弥生時代の社会と文化」

▽日時 10月31日(日)午後2時~4時

▽講師 井上 洋一

(東京国立博物館教育普及課長)

▽会場 大田区役所

▽定員 100名

▽申込方法 往復はがき10月19日必着

▽申込先 大田区立郷土博物館

◆ 史跡めぐり「池上地区」

▽日時 11月16日(火)

午後1時30分~4時頃(小雨決行)

▽集合場所 池上本門寺仁王門

▽コース 池上本門寺→法養寺→妙見堂
照栄院

▽定員 100名

▽申込方法 往復はがき10月21日必着
催し物名、参加者全員の住所・
氏名・年齢、電話番号を明記

▽申込先 大田区立郷土博物館

▽参加料 無料 (ただし入館料は自己負担)

◆ 文化財写真パネル展

区内の遺跡調査、指定・登録文化財などの写真パネルや遺跡出土品を展示します。

▽期間 ①10月30日(土)~11月5日(金)

②11月9日(土)~11月19日(金)

▽時間 ①②共、庁舎開庁時間

▽場所 ①区役所1階ロビー

②大田西地域行政センター分室
1階ロビー (写真パネルのみ)

▽問合せ先 大田区立郷土博物館

◆ 文化財の公開

①大坊本行寺 (池上2-10-5)

「法華経板木」都指定有形文化財

11月7日(日)のみ

午前10時~午後4時

「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡

11月3日~14日

午前9時30分~午後4時30分

②池上本門寺

「宝塔」都指定有形文化財 (池上2-10) と

「五重塔」国重要文化財 (池上1-1)

午前9時~日没まで

③多摩川台公園内 (田園調布1-63-1)

「亀甲山古墳」国指定史跡

「宝来山古墳」都指定史跡

「多摩川台古墳群」都指定史跡

④大田区立郷土博物館 (南馬込5-11-13)

「大森及び周辺地域の海苔生産用具」

国重要文化財

参加方法①は当日現地へ、②~④は期間に
かかわらず見ることができます。

大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当
〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
Tel 03(3777)1070 Fax 03(3777)1283